

朗読会

真庭・蒜山地域にちなむ短編小説を読むシリーズ

安原萬次郎著

ひるぜんばら

小説『蒜山原の

わかまし

海の若鷺』

―丸山二等飛行曹と有富飛行兵曹長の生立ち―

●八月二二日（土）

一三時三〇分～一五時朗読と解説

蒜山郷土博物館

電話〇八六七―六六―四六六七

●九月四日（金）

一九時～二〇時三〇分朗読と解説

中央図書館

電話〇八六七―四四―二〇二二

●入場無料・予約不要・定員四〇名



——この時代、この時期にこそあえて読む

戦意高揚に利用された少年たちと蒜山の短編小説

大正時代蒜山で生まれた二人の少年。二人は同じ小学校で育ち、若くして出兵し、戦死してしまう。その死は「蒜山原の二少年」として戦意高揚のため大々的に宣伝に使われた。そんな二人は蒜山の少年時代をどんな風に生きていたか。

一九四三年
当時の情勢
も描く貴重
な作品。



朗読 前原茂雄

（蒜山郷土博物館館長）